

使用済み商用車架装物 解体マニュアル

トラックミキサ編

1. 解体マニュアルは一般的な事例を示しています。掲載している図、表は実物と異なる場合がございますのでご了承ください。
2. 解体作業に伴う作業上の注意事項、事前選別対象部品、環境負荷物質の取り扱い等につきましては、使用済み商用車架装物解体マニュアル（新明和工業株式会社 共通編）を併せてご覧ください。
3. 解体作業に伴う作業上の注意事項、事前選別対象部品、環境負荷このマニュアルは解体方法に関する参考資料としてご提供するものですので、実際の解体作業においては各社様のご判断により作業を進めてください。
4. 本解体マニュアルの内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

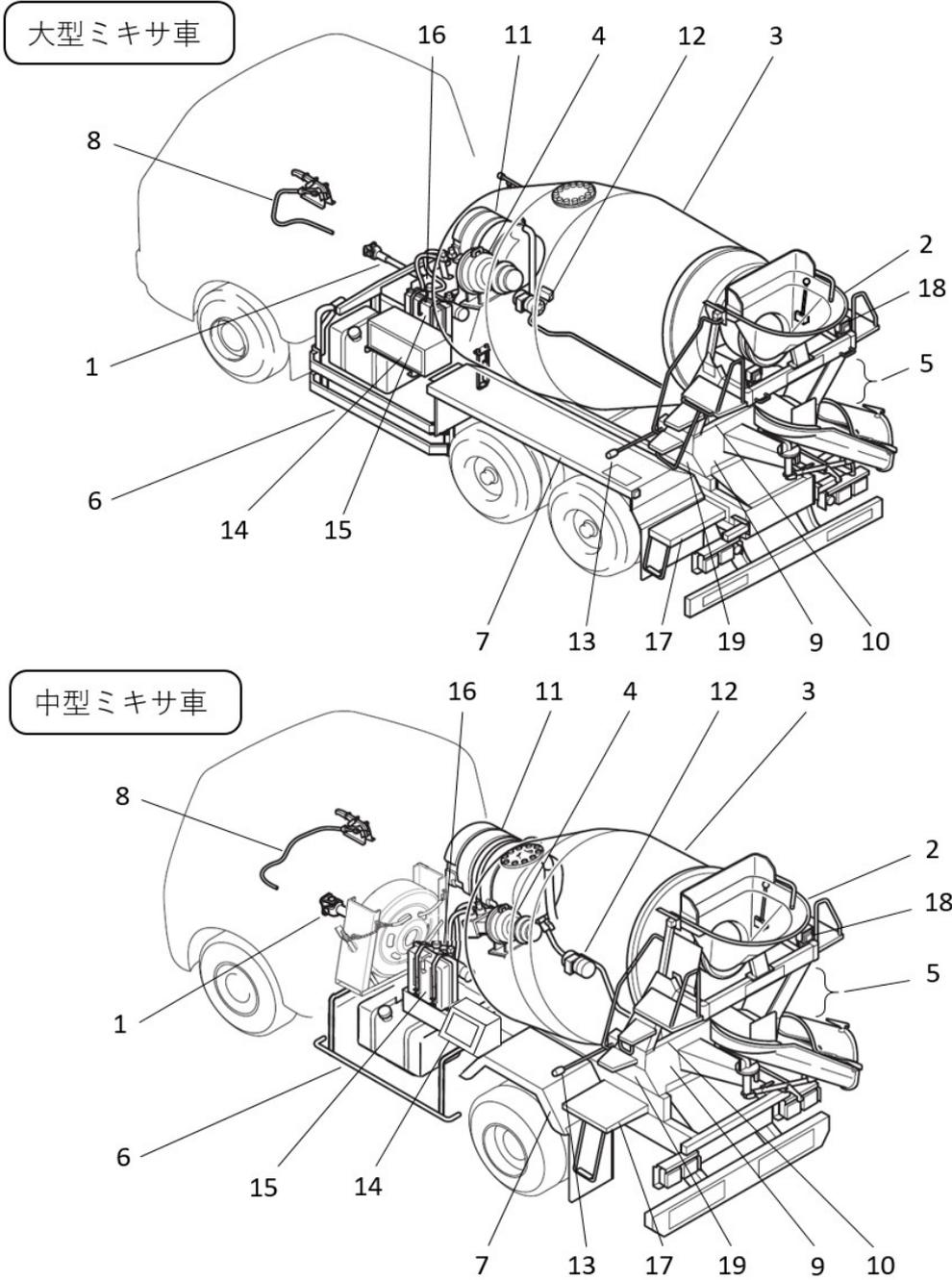
内容

- 1, コンクリートミキサ車架装物の構造概要
- 2, 解体時の注意事項
- 3, 解体前の準備作業
- 4, 解体手順
- 5, 環境負荷物質が含まれる部品
- 6, お問い合わせ窓口

新明和工業株式会社

特装車事業部

1. コンクリートミキサ車架装物の構造概要



注記) 上図は一般的な取付け例を示した一例であり、具体的な取付け部品はトラックミキサ車毎に異なる場合があります。

番号	品目名称	番号	品目名称
1	ドライブシャフト	11	水タンク
2	ホッパ	12	水ポンプ & 水配管
3	ドラム	13	操作装置 & 連結ロッド類
4	減速機 & 油圧モータ	14	工具箱
5	シュート & スクープ	15	作動油タンク
6	サイドガード & タイヤ歯止め	16	油圧ポンプ & ホース
7	フェンダ & 泥よけ	17	フェンダ後方ステップ
8	キャブ内操作コントロールケーブル	18	作業灯 & 路肩灯
9	前方支持台、後方支持台	19	各種ネームプレート
10	ガイドローラ		

2. 解体時の注意事項

解体作業時には下記注意事項を遵守してください。

- 1) 安全な作業を行うに当たって、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用し、作業内容に応じて保護メガネ、耳栓、防塵マスク等の保護具を着用してください。
- 2) 高所作業については、墜落制止用器具、足場の確保等転落防止処置を講じて行ってください。
- 3) 油脂の回収に当たっては、地下浸透や施設外流出が発生しない環境下及び方法で行ってください。
- 4) コンクリートが固着しているドラムやシュート、ホップ等を溶断にて解体する場合には、コンクリートの跳ね等、飛散に十分注意して行ってください。
- 5) 解体前にドラム内のコンクリートの付着、残量状況を確認し、ドラムの吊り上げ荷重を考慮してください。
コンクリートの重さは約2,400kg/m³あります。参考に付着のないドラム重量(含む減速機)を記します。

No.	ドラム最大混合容量	ドラム重量
1	1.5、1.7m ³	約 600kg
2	2.2m ³	約 750kg
3	2.8m ³	約 1,100kg
4	3.0、3.2m ³	約 1,200kg
5	4.2、4.4、4.5m ³	約 1,400kg
6	5.2m ³	約 1,600kg

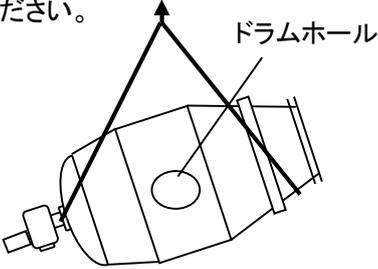
- 6) 上記以外にも関連する法規を遵守してください。

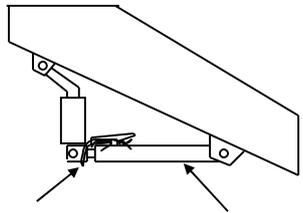
3. 解体前の準備作業

- 1) 下記の要領で作動油を抜き取ってください。
 - ・ 油圧ポンプの吸い込みホースをオイルタンクから外し、ホース中の油を抜き取ってください。
 - ・ 油圧ポンプと油圧モータをつないでいるホースを順次油圧モータ側から取り外しホース内の油を抜き取り、ホースを油圧ポンプから分離してください。
 - ・ 他の作動油タンクにつながるホースを油圧ポンプ、油圧モータから取り外しホース内の油を作動油タンクに戻してください。
 - ・ 作動油タンクのオールドレインプラグを外し油を全て抜き取ってください。
以上で作動油の抜き取りを終了しますが、作業時に油を地面に垂らさないよう油受けを使用してください。また、機器に付着した油は布などで拭き取ってください。
- 2) 減速機の油の抜き取り
 - ・ 減速機のオールドレイン口の下に油受けを置き、プラグをゆるめて油を抜き取ってください。
この作業は、減速機をドラムと一緒にミキサ架台から解体後実施することもできます。

除去した油類は、適正に保管、処分を行ってください。

4. 解体手順

品目番号	品目名	解体方法	鉄以外の材質 ※1	注意事項
	事前処理	コンビネーションランプ、ライセンスプレートランプ、サイドフラッシュランプ、リヤリフレクタなどのシャシ側部品を取り外してください。		シャシ側部品はシャシと一緒にしてリサイクルルートに載せてください。
1	ドライブシャフト (一部の小型機種には装着されていません)	油圧ポンプを駆動しているドライブシャフトをシャシエンジンの後方出力軸、および油圧ポンプへの取り付けボルトを外し分離してください。		エンジンは必ず停止し、エンジンキーを抜き取り作業者が持った状態で実施してください。
2	ホッパ	ホッパをクレーンなどで吊り下げ、ドラムの後方支持台からホッパの取り付けボルトを外しドラムとホッパを分離してください。ホッパ上部ゴムとホッパ、ドラムの間にあるシールゴムを分別してください。ホッパはリサイクルしやすいように溶断などで切断してください。付着しているコンクリートはコンクリートブレーカなどではつり除去してください。 ホッパにホッパカバーが付いている場合は、一緒に解体し分別してください。	上部ゴム：樹脂 材料表参照 シールゴム：布入りゴム	溶断時、コンクリートがはじけることがあるので注意してください。
3	ドラム	ドラムと減速機の間、およびドラムの後部リング部分の 2 か所でドラムを吊り上げられるように準備してください。減速機の架台への取り付けボルトを外し、ドラムと減速機を一緒に吊り上げ外してください。ドラムはリサイクルしやすいように溶断などで切断してください。付着しているコンクリートはコンクリートブレーカなどではつり除去してください。  ドラム外面のドラムホールのパッキンをゴムとして分離分別してください。	ドラムホールパッキン:ゴム	溶断時、コンクリートがはじけることがあるので注意してください。

4	減速機 & 油圧モータ ※2	減速機を吊り上げながら、ドラムからボルトを外して取り外してください。 減速機の油が抜いてない場合はここで抜き取る。減速機から油圧モータを分離してください。取り付け面にOリングが有る場合は分別してください。	減速機内部にはシールゴムがあります。 油圧モータ内部には銅合金、シールゴムがあります。	
5	シュート & スクープ	<p>スクープを後方支持台からボルトを外して取り外してください。スクープに取り付けられているシール部品、エプロンは分離して分別してください。シュート本体を取り外す前に、シュートスラストバーの伸縮部分を針金等で伸びないように固縛してください。</p>  <p>ワイヤ等 シュートスラストバー (油圧シュートの場合は不要)</p> <p>この状態でシュート本体を取り付けている上下2本のピンを抜き取り、シュート本体を取り外してください。シュート上面のシュートゴムは分別してください。シュート本体はリサイクルしやすいように溶断などで切断してください。シュート、スクープとも付着しているコンクリートはコンクリートブレーカなどではつき除去してください。</p>	シール部品：樹脂材料表参照、無い場合はゴムです。 エプロン：樹脂材料表参照 シュートゴム：ゴム	シュートスラストバーにはスプリングが内蔵されており、ピンを外すと急激に伸びるのでしっかり固縛してください。作業時は注意して行ってください。 溶断時、コンクリートがはじけることがあるので注意してください。
6	サイドガード & タイヤ歯止め	取り付けボルトを外し分離する。車輪止めを分別してください。	タイヤ歯止め：樹脂材料表参照	
7	フェンダ & 泥よけ	取り付けボルトを外し分離してください。泥よけ、コーナープロテクタはゴムまたは樹脂として分別してください。フェンダ上面滑り止めを分離してください。	滑り止め：アルミまたはゴム 泥よけ：樹脂材料表参照 コーナープロテクタ：ゴム	

	キャブ内操作 コントロールケ ーブル	キャブ内のミキサ操作装置からコントロールケーブルの取り付けネジを外してください。キャブをティルトさせ、キャブ下面に配策されているコントロールケーブルを取り外し、金属部分とその他を分離分別してください。	コントロールケー ブル ブーツ、グロメッ ト:ゴム 被覆:樹脂材料 表参照	
9	前方支持台 & 後方支持台	シャシフレームに止めているUボルト、クランプボルト類を外してください。シャシから吊り上げ分離し、支持台本体はリサイクルしやすいように溶断などで切断してください。支持台とシャシフレーム間のスペーサを剥がしとってください。	スペーサ:布入り ゴムまたは再生 プラスチック	
10	ガイドローラ	後方支持台に取り付けられているローラは樹脂製なので分別してください。ローラを取り付けているシャフトを抜き取り、ローラを取り外してください。ローラ内にベアリングが挿入されているので分別してください。	ローラ:樹脂材 料表参照	
11	水タンク	取り付けバンド、配管を外し、タンク本体を樹脂として分別してください。水タンクに取り付けられている、水タンクホース類を分離分別してください。	水タンク:樹脂材 料表参照 取り付けバンド: ゴムカバー付き の場合があります 水タンクホース: 樹脂材料表参照	
12	水ポンプ & 水 配管	水ポンプ廻りの配管、継ぎ手、電線を外し分別してください。水ホース、ボールバルブ、ノズルを解体し分別してください。ボールバルブはレバービニル被覆、内部金属ボール、樹脂座に分離分別してください。	水ポンプはアル ミ、銅合金が使 われています 水ホース:樹脂 材料表参照 ノズル:亜鉛合 金	
13	操作装置 & 連 結ロッド類	前方、後方支持台に取り付けられている操作レバー、ロッド類のネジをゆるめて取り外してください。操作レバーの把手は樹脂として分別してください。またロッド端末のロッドエンド、上方操作レバーのゴムカバー等を分別してください。	ロッドエンド 本体:亜鉛合金 ボール:鉄 ブーツ:NBR	

14	工具箱	取り付けボルトを外し支持台から分離してください。工具箱内の敷き板は木材として分別してください。	敷き板:木材	
15	作動油タンク	締め付けバンドを外し、分離してください。レベルゲージ、フィルタを分離分別してください。フィルタはケースを分解し、内部の紙フィルタを分別してください。油は作動油として回収してください。	締め付けバンド: ゴムカバー付き の場合有り	
16	油圧ポンプ & ホース ※3	取り付けボルトを外し、ホースを取り外し分離分別してください。金具付きホースは金具部分を分離分別してください。	油圧ポンプには 銅合金、シール ゴムが使われて います 油圧ホース:布入 りゴム	
17	フェンダ後方ス テップ	ステップは架装物なので、シャシフレームからネジ止め部を解体、または溶断分離してください。		
18	作業灯・路肩 灯・スイッチボ ックス	電線を外し作業灯、路肩灯を分離してください。各灯器は金属部分と樹脂部分、ランプに分別してください。スイッチボックスは樹脂部分、金属部分、電線に分離分別してください。	電線:樹脂材料 表参照 スイッチボックス ケース:樹脂材 料表参照	
19	各種ネームプ レート	リベット締めされているネームプレートはアルミ製なので分別してください。	ネームプレート: アルミ	

※1:表中の「樹脂材料表参照」とあるものは、下表の架装物樹脂材料表(出荷時)を参照してください。

ただし、配線・油圧ホースの材料名は省略しています。

架装物の後方支持台側面にも取り付けられています。

品 目 名	材 料	備 考
ガイドローラのローラ	P A	
ホツパの上部ゴム	E V A C	
スクープのエブロン	P V C	
水タンク本体	P E	
水タンクの透明ホース	P V C	
水配管ホース	P V C	
タイヤ歯止め	廃プラス チック	
キャブ内操作ケーブル の被覆	P E	
操作レバーのノブ	P F	
水ポンプ、作業灯の 操作パネル	P P	10トン車級 のみ
配線コルゲートチューブ	P P	
スペーサ	再生プラ スチック	4トン車級 のみ
垂れゴム	E V A C	

203-26121-0B

※2.3:減速機、油圧ポンプ、油圧モータを解体するには専門知識、工具が必要です。
専門業者に委託して適切に処理してください。

5. 環境負荷物質が含まれる部品

1) 下記部品に環境負荷物質である「鉛」が含有されています。

- ・油圧ポンプ、モータの回転軸受けブッシュ、バルブプレート
- ・水ポンプ本体のバランスウエイト、駆動電動モータのアーマチュアシャフト、電気結線部半田
- ・スイッチボックスの半田部分

環境物質を含む部品は確実に分離し、適正な処理をお願いします。

なお、ポンプ、モータの解体は専門業者に依頼してください。

6. お問い合わせ窓口

本解体マニュアルに関しまして、お問い合わせ事項等がございましたら下記までお願い致します。

新明和工業株式会社 特装車事業部 開発部

TEL:0283-23-2226